社会学研究法 a

「共分散構造分析 追加配布資料」

*** 小課題 ***

Web ページ (http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/[~]tyasuda/) から「小課題用データ」を ダウンロードして、恋愛結婚と結婚満足度の関係を検討する共分散構造分析をおこない、 「小課題提出ファイル」のレポートを完成させなさい。(12月17日提出、1週遅れも減点 で受け付けます)

■ (参考)発展的な共分散構造分析のための AMOS 操作

潜在変数を使ったモデルの指定

	頑在変数	(ふつう	に測定さ	きれている変数)	は通常どれ	おりに配置す	る	
2	◯ 中 2: 直	接観測されない	い変数を描く	で必要な潜在変	数を描く			
3	₣₩ 左 10: >	オブジェクトの	プロパティ	で潜在変数の[]	変数名][雾	変数のラベル]を指定	
4	(潜在変	数にも)	← 左 2:	パスを描く(一方向矢印)	でパスを描	はく(必要に	応じて ↔ _{申 2} :	: 双方向矢印)
5	(潜在変	数にも)	名 2: 5	既存の変数に固有の変数。	_{を追加} で内生	変数には誤差	差変数を追加	
6	(潜在変	数の誤差	変数も)	「■ 左 10: オブジェク	トのプロパティ	で[変数名]	を指定(e1、	e2 等)
\bigcirc	替在変数	にいずれ	かの制約	りを与える				
	(a) 潜石	主変数の分	う散を 1	に固定する				
	潜	在変数の	₣₩ 左 10:	オブジェクトのプロパテ	ィの[パラン	メータ]タブ-	で[分散]を	「1」に

(b) 潜在変数に関わるいずれかのパスの係数を1に固定する

パスの 「
「
「
「
「
「
「
、
オブジェクトのブロバティ」の
「
パラメータ] タブで
「
係数」を
「1」に
⑧ あとは通常どおりに分析操作



多母集団の同時分析 (男女別の分析の例)

② [グループ名] を「男性」に書き換える

\$\$\$ 1° №-7° 管理(G)		? ×
グルーフ*名(<u>G</u>) 男性		
新規作成(<u>N</u>)	削除(<u>D</u>)	閉じる(<u>c</u>)

- ③ [新規作成] をクリックして別のグループの作成に移る
- ④ [グループ名] を「女性」に書き換える

「ルーフ。名	ファイル	変数	数値	標本数		
貼性	spss_data_cov3.sav	q01	0	109/240		
て性	spss_data_cov3.sav	q01	1	131/240		
	77 イル名(N) デ ⁻ -9の表示(D) 		1		A 11 7*(11)	
				夫(丁中の)71/000		
			1	がループルが数(の)		
			/////uzxxxx	710-710(V)		
				\$ m` (17		
				197670		

⑥あとは通常どおりに分析操作

